

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満 株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住 所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

▶特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

■ この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮した植物油インキを使って印刷しています。



株主のみなさまへ

第151期 報告書

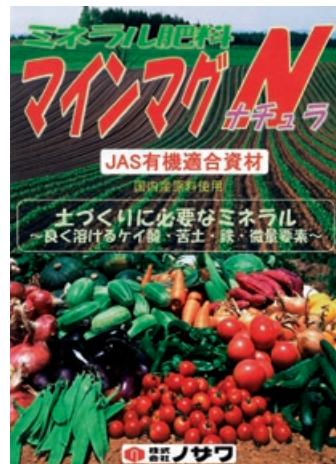
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

「やすらぎと安心の創造」 ノザワの環境ビジネスの取り組み

ノザワは、環境対策事業を今後の重点成長分野と位置づけ、長年にわたる建材開発に関わる無機材料の改質技術を応用し、産学共同開発によって誕生したミネラル肥料「マインマグ」をはじめ、省エネに貢献する太陽電池一体型外壁システム「アスロックソーラーウォール」、環境負荷低減への顧客ニーズを捉えた「外壁一体型ビルトイン壁面緑化」を開発し、市場拡大を図っております。

取り組み 1 「有機栽培用ミネラル肥料」を開発。 高付加価値農産物の生産に貢献します。

昨年より販売を開始した当社のミネラル肥料「マインマグシリーズ」に、有機栽培に使える商品「マインマグN(ナチュラ)」を新しくラインアップしました。「マインマグN(ナチュラ)」は、ケイ酸と苦土(マグネシウム)を主成分とし、鉄、マンガン、ホウ素、銅、亜鉛など、作物の生育に必要なミネラルを含有、有機農産物の日本農林規格に定める基準に適合した肥料です。ケイ酸は、病害を軽減し、健全な生育を促すことから、近年、その環境保全的な効果が注目されています。「マインマグN(ナチュラ)」のケイ酸は、汎用のケイ酸質資材と比べて、3倍以上水に溶け、作物への呼吸が増えることから、ケイ酸の施用効果が高いことが特長です。また、苦土の他、豊富なミネラルの相乗作用によって、農産物の品質向上が期待できる商品です。

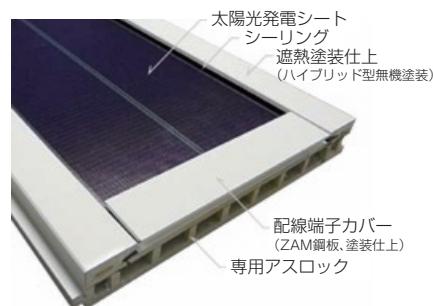


マインケミカル事業部では、「マインマグシリーズ」を、広く知って頂くとともに、インターネットでもご購入頂けるよう、専用のホームページを開発しましたので、ぜひご利用ください。

<http://nozawamine.wc.shopserv.jp/>

取り組み 2 「アスロック・ソーラーウォール」を発売。 環境にやさしいクリーン・エネルギーを外壁に。

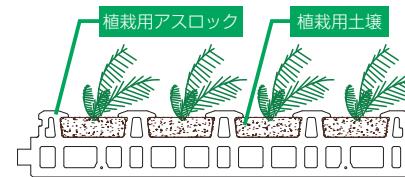
「アスロック・ソーラーウォール」は、押出成形セメント板「アスロック」の両端にスリットを設け、フィルム型アモルファス太陽電池を組み込み、軽量で安全、環境にやさしく、年間発熱量の多い外壁での太陽光発電を可能にしました。



東武鉄道ふじみ野変電所

取り組み 3 「外壁一体型ビルトイン壁面緑化」を共同開発。 低コスト、高パフォーマンスの壁面緑化を実現します。

建築物等の壁面緑化は、ヒートアイランド現象緩和や美観向上等の観点から、近年大きな注目を集めています。しかし、導入コストが高く、植物の維持管理の難しさから普及が進んでいないのが現状です。今回、当社が壁面緑化メーカー 株式会社杉孝と共同で開発した商品は、当社の押出成形の特性を活かした自由な形状成形により、アスロック自体に植栽用のポット機能を付加することで、従来必要とされた植栽固定の下地金物材をなくし、コストの低減・施工の効率化に加え、緑化を含めた壁面の軽量化を可能にしました。また、土壌単体のセパレート化により任意の場所での取替えが可能で、植栽配置のデザインも自由に設計できるなど新しいタイプの壁面緑化を実現します。





代表取締役社長 野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により被災されました皆様にお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。ここに第151期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

平成23年6月

■ 当期の取り組みと成果

【建設投資の低迷と競争激化の中、減収減益幅を改善】

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国を中心とした需要の拡大を背景に輸出の増加や、各種経済政策効果で一部に回復の兆しが見られましたが、急激な円高や株価の低迷、厳しい雇用情勢等に加えて、年度末に発生した東日本大震災の影響により、先行きの不透明感が増しております。建築材料業界でも、公共投資の減少、住宅着工戸数の減少等による競争激化により、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社は主力製品「アスロック」発売40周年を記念し、「アスロックデザインパネルキャンペーン」を展開、今後もお客様視点で、可能性を広げてまいります。また、商品群及び新工法の充実を図るため、高層及び超高層建築物に対応できるカーテンウォールシステム「アルカス」（新押出成形セメント板 外壁等圧目地無足場工法）を開発・発売しました。1号物件に続き、100m級の超高層ビルを2号物件として受注しております。このほか、押出成形セメント板「アスロック」に太陽電池を組み込んだ太陽電池一体型外壁システム「アスロックソーラーウォール」を発売、1号物件は既に施工完了しております。さらに、「アスロック」の重厚感を活かしたデザインパネルの新パリエーションとして、新たに900mm幅タイプの3品種を追加しました。工法面では「アスロック」の外壁高性能2次防水工法「セフティシール工法」に新しく中低層建築向けの「タイプM」をラインアップし大幅なコスト削減を実現しました。

マイケミカル事業部では、昨年3月に東京農業大学と共同開発したミネラル肥料「マインマグシリーズ」を発売しました。病害の軽減、生育や食味の向上など、農産物の高付加価値に貢献する商品として販路開拓、122tの出荷をいたしました。

海外市場では、中国建築市場において押出成形セメント

板市場の早期確立のため、営業人員を増員、営業力の強化で前期比約2倍となる47,000㎡超の販売数量を達成しました。

生産部門では、生産の効率化を図るとともに、内製化を強力に推進し、外注費の削減に努めました。また、埼玉工場のライン改造を行い、新押出技術の開発を進め品質向上に取り組みました。管理部門でも、IT活用による業務の効率化や物流費削減等、販売管理費の圧縮に努めました。

これらの結果、押出成形セメント製品では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は87億56百万円（前年同期比4.6%減少）、住宅用軽量外壁材は15億6百万円（前年同期比1.6%減少）、一方、スレート関連は11億53百万円（前年同期比4.0%増加）、耐火被覆工事は12億79百万円（前年同期比16.5%減少）、石綿除去工事は5億70百万円（前年同期比16.2%減少）となったこと等から、当連結会計年度の売上高は152億16百万円（前年同期比6.6%減少）となりました。

利益面では、生産性の向上や外注費削減等による製造原価低減、販売費及び一般管理費のコスト削減及び業務の効率化を強力に推進しましたが、競争激化による販売価格下落等により営業利益は2億15百万円（前年同期比1億95百万円減少）、経常利益は1億14百万円（前年同期比1億68百万円減少）となりました。当期純利益は、投資有価証券評価損を計上したこと等から、7百万円（前年同期比2億23百万円減少）となりました。

■ 来期の見通し

【積極的な事業展開により、早期の業績回復を目指す】

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の影響により、被災地の工場操業停止や電力不足などから製造業の生産が減少、輸出も含め景気が停滞するものと予想され、先行きの不透明感はさらに続くものと思われま。

このような中、今後も幅広い顧客ニーズを先取りした新

商品・新工法開発により、建材事業・環境対策事業・海外事業の拡大に取り組みます。すでに研究開発部門では、ヒートアイランド現象の緩和、美観向上、環境負荷低減に対応した「外壁一体型ビルトイン壁面緑化」を開発。壁面と緑化部の一体化により緑化取付金具設置の必要がなく、コスト低減・施工効率アップ、壁面の軽量化を実現し構造躯体への負担軽減も可能となりました。本年10月出荷開始予定です。また、昨年発売した太陽電池一体型外壁システム「アスロックソーラーウォール」、ハイパート外断熱工事・スレートリフレッシュ工事・アスベスト対策工事・クリーニング事業等、環境対策関連商品群を拡充し、市場拡大を図ります。

マイケミカル事業部では、昨年発売を開始したミネラル肥料「マインマグシリーズ」に有機栽培に使用できる「マインマグN（ナチュラル）」を追加。ケイ酸と苦土（マグネシウム）を主成分とし、作物の生育に必要なミネラルを含有、化学的処理を行うことなく肥料化し、有機栽培に適した土壌を作り、生育促進と品質の向上が期待できます。また、肥料ユーザーとのネットワークを活用し、肥料及び農産物をインターネットにて販売する取り組みを開始、「農」と「食」をつなぐことも視野に入れてまいります。

生産面では、電力不足が懸念されるなか、柔軟な生産体制を実施することにより、受注数量に対する製造供給体制を構築します。また、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）による品質の向上と納期の短縮を図り、更なる内製化を推進し、収益向上に繋がります。

管理面では物流費や諸経費の更なるコストダウンに取り組むとともに、有利子負債の圧縮により財務体質を改善し経営基盤の強化を図ります。

これらの積極的な事業展開により、平成24年3月期の連結業績は、売上高160億円、営業利益4億70百万円、経常利益3億50百万円、当期純利益1億90百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度末 平成23年3月31日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	6,476,809	7,348,276
現金及び預金	1,813,046	2,732,386
受取手形及び売掛金	3,398,562	3,354,039
たな卸資産	649,987	639,444
その他	632,019	647,234
貸倒引当金	△16,806	△24,828
固定資産	13,622,815	13,842,230
有形固定資産	10,929,765	11,200,484
建物及び構築物	2,557,275	2,688,938
機械装置及び運搬具	882,189	1,005,940
土地	7,284,080	7,284,080
その他	206,219	221,525
無形固定資産	15,048	15,909
投資その他の資産	2,678,001	2,625,835
投資有価証券	1,453,945	1,422,840
その他	1,270,999	1,294,928
貸倒引当金	△46,943	△91,933
繰延資産	520	867
資産合計	20,100,145	21,191,374

(単位：千円)

科目	当連結会計年度末 平成23年3月31日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	5,048,557	6,159,560
支払手形及び買掛金	2,372,485	2,056,849
短期借入金	1,663,000	2,848,000
賞与引当金	179,120	179,150
その他	833,952	1,075,560
固定負債	7,047,987	7,012,002
社債	10,000	30,000
長期借入金	2,842,000	2,885,000
再評価に係る繰延税金負債	2,277,849	2,277,849
退職給付引当金	1,371,349	1,223,930
資産除去債務	13,050	—
その他	533,738	595,222
負債合計	12,096,545	13,171,562
純資産の部		
株主資本	4,840,486	4,879,666
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	967,539	1,006,394
自己株式	△46,626	△46,299
その他の包括利益累計額	3,163,113	3,140,145
その他有価証券評価差額金	22,715	△253
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
純資産合計	8,003,600	8,019,811
負債純資産合計	20,100,145	21,191,374

連結損益計算書

(単位：千円)

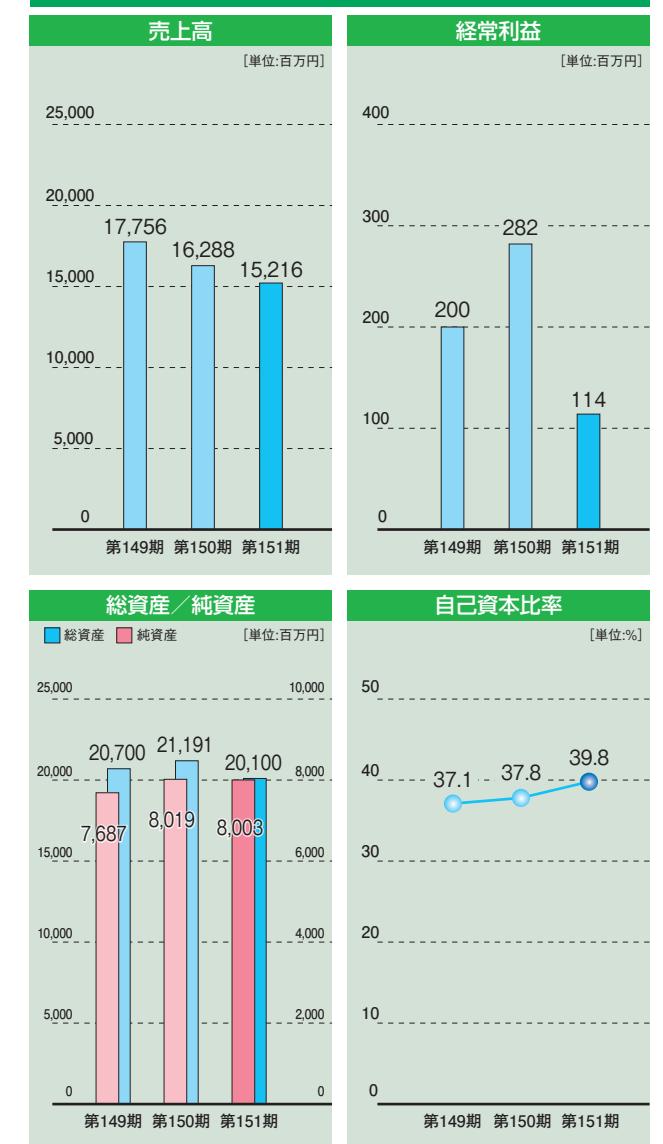
科目	当連結会計年度 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前連結会計年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	15,216,057	16,288,227
売上原価	11,114,979	11,937,288
売上総利益	4,101,078	4,350,939
販売費及び一般管理費	3,885,712	3,940,399
営業利益	215,365	410,539
営業外収益	79,075	69,785
営業外費用	180,175	197,373
経常利益	114,265	282,951
特別利益	8,569	222,133
特別損失	30,900	154,596
税金等調整前当期純利益	91,934	350,488
法人税、住民税及び事業税	85,534	234,804
法人税等調整額	△1,427	△115,662
法人税等合計	84,107	119,141
少数株主損益調整前当期純利益	7,827	—
当期純利益	7,827	231,346

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前連結会計年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	635,197	622,066
投資活動による キャッシュ・フロー	△244,454	100,216
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,310,083	522,482
現金及び現金同等物の 増減	△919,340	1,244,765
現金及び現金同等物の 期首残高	2,732,386	1,487,620
現金及び現金同等物の 期末残高	1,813,046	2,732,386

連結決算ハイライト



(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度末 平成23年3月31日現在	前事業年度末 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,863,014	6,764,457
固定資産	13,445,588	13,649,796
有形固定資産	10,929,519	11,200,122
無形固定資産	14,679	15,541
投資その他の資産	2,501,389	2,434,133
繰延資産	520	867
資産合計	19,309,123	20,415,121
負債の部		
流動負債	4,782,031	5,945,689
固定負債	7,028,768	6,987,234
負債合計	11,810,800	12,932,924
純資産の部		
株主資本	4,313,399	4,324,319
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,190,882	1,190,882
利益剰余金	814,966	825,560
自己株式	△141,449	△141,123
評価・換算差額等	3,184,923	3,157,877
その他有価証券評価差額金	44,525	17,479
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
純資産合計	7,498,323	7,482,197
負債純資産合計	19,309,123	20,415,121

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度末 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前事業年度末 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	12,558,485	12,908,253
売上原価	8,813,344	9,032,711
売上総利益	3,745,141	3,875,542
販売費及び一般管理費	3,541,457	3,551,155
営業利益	203,683	324,387
営業外収益	105,549	99,206
営業外費用	190,118	208,640
経常利益	119,115	214,953
特別利益	—	225,341
特別損失	30,900	153,424
税引前当期純利益	88,215	286,870
法人税、住民税及び事業税	71,132	204,620
法人税等調整額	△19,005	△110,252
法人税等合計	52,126	94,367
当期純利益	36,088	192,503

2010

高層建築向け
押し成形セメント板
「アルカス」の
販売を開始



セフティシール工法タイプM
の販売を開始



建材・設備メーカーランキング
押し出し成形
セメント板などの外装材部門
5年連続第1位

読者を対象に、建材・設備メーカーの
製品採用意向等をアンケート調査
2010年9月27日号

※「日経アーキテクチャ」
2010年9月27日号

2011

社内報「15番館」100号記念号を発刊

外壁一体型ビルトイン壁面緑化を
共同開発



アスロック発売40周年

アスロック900
デザインパネル3品種を
同時発売



太陽電池一体型
外壁システムを共同開発・発売

国際フラワーEXPO
「農業資材フェア」に出展



有機栽培用ミネラル肥料
(JAS有機適合)を開発・発売

中国で押し成形セメント板の製造工場
建設を発表

Topics 2011年 中国建築市場に本格進出

中国・瀋陽市に、野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司を設立(積水ハウス株式会社との合併会社)、2011年度中に新工場を建設、2012年春、稼働。
中国・上海市には独資で販売子会社 野澤貿易(上海)有限公司を設立。旺盛な中国建築市場に本格進出。



野澤積水好施新型建材
(瀋陽)有限公司

野澤貿易(上海)有限公司

■ 会社概要

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION
創業	明治30年8月17日
設立	大正2年9月28日
資本金	24億4,900万円
従業員数	321名 (連結)
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング

■ 役員 (平成23年6月29日現在)

代表取締役社長	野澤俊也
専務取締役	佐々木三七司
専務取締役	豊田和冲
常務取締役	三原伸夫
常務取締役	山口幸久
常務取締役	田淵義章
取締役	坂本茂紀
取締役	松永祐明
常勤監査役	吉田慎真
社外監査役	吉田尾良
社外監査役	羽尾良一
社外監査役	犬賀三志

■ ネットワーク

● 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL078-333-4111 (代)

● 支店・営業所

- 札幌支店 札幌市中央区大通西1丁目14番2 (第2有楽ビル)
- 仙台支店 仙台市青葉区本町1-1-8 (第一日本オフィスビル)
- 東京支店 東京都中央区新川1丁目24番8号 (東熟新川ビル)
- 名古屋支店 名古屋市中区名駅3丁目10番17号 (IT名駅ビル2号館)
- 北陸営業所 金沢市本町1丁目5番1号 (リファーレ)
- 関西支店 神戸市中央区浪花町15番地
- 広島支店 広島市中区小町3番25号 (三共広島ビル)
- 松山営業所 松山市大手町2丁目9番地4 (石丸ビル)
- 九州支店 福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 (JPR博多ビル)



- 研究所
 - 技術研究所 埼玉県深谷市大字折之口後ヶ原1851番地4
 - 工場
 - フラノ事業所 北海道富良野市字山部1596番地4
 - 埼玉工場 埼玉県比企郡吉見町大字長谷1947番地
 - 播州工場 兵庫県加古郡播磨町古宮
 - 高砂工場 兵庫県高砂市高須1番1号
 - 海外駐在所
 - 上海駐在所 上海市延安西路2299号 上海世貿商城10F A55

■ 株式の状況

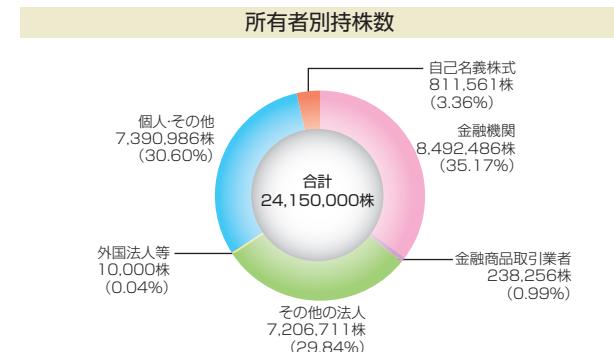
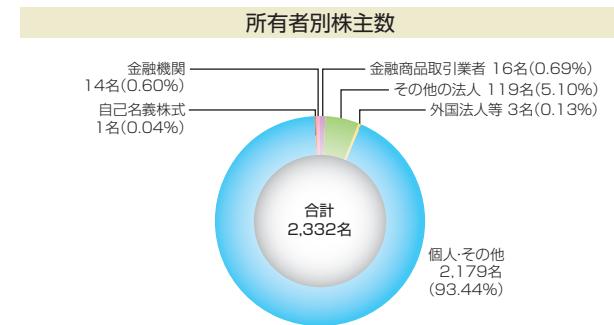
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	2,332名

■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.49
日本生命保険相互会社	1,744	7.47
株式会社三井住友銀行	1,153	4.94
神栄株式会社	973	4.16
ケーオーディー株式会社	836	3.58
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
ノザワ従業員持株会	667	2.85
CBC株式会社	603	2.58
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
日工株式会社	568	2.43

(注) 持株比率は自己株式 (811,561株) を控除して計算しております。

■ 株式分布状況



■ ホームページのご案内

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様へのタイムリーなIR情報の開示に努め、施工例、新商品情報も随時更新しています。英語版・中国語版・韓国語版も今後ますますの充実を図ってまいります。

